

亞細亞時報

英國の對印度獨立運動を解剖す

現在の印度獨立運動に對し

日本は無條件に拍手送らぬ

堀情報局第三部長談

【東京二十日同盟】堀情報局第三部長は十九日夜エーケーより「印度獨立運動の將來」と題して放送を行ひ、獨立運動の現状及びこれが見透しにつき彈壓名目上の獨立供與、實ともに獨立を供與するやうな事態が出現した場合イギリスの採る策謀を二段にわかつて縱横にこれを解剖した後次の如く強調した

日本としては印度の獨立運動の兵力が印度に残存する限り實行力の如何にかゝつてゐる、印度人が一致團結して新印度が米英勢力を驅逐し印度旨堅固たる決意が表明されて興獨立國として誕生する日の本として印度を敵とすべき理窟が及ぶか否かは一に印度人希望する由がないことは勿論である。たゞ現在獨立運動に無條件に對する態度はすでに聲明書を發表したがその要旨左の通り

日本としては印度の獨立運動の背後に系を操るイギリスの策謀あるが府及び南京政府の外交部長とためでわれわれは之を充分監視する必要があるのだ。日本上海において印度問題に關する必要があるのは、日本上海において印度はすでに印度人希望する

日本としては印度の獨立運動の背後に系を操るイギリスの策謀あるが府及び南京政府の外交部長とためでわれわれは之を充分監視する必要があるのだ。日本上海において印度はすでに印度人希望する

元南京政府外交部長聲明

【上海十九日同盟】舊漢政英國のガンドー逮捕は深刻な惡虐行為である、支那が一九二七年武漢で英帝國主義と開戦せる際印度人の示義と開戦せる際印度人の示した同義を記憶する、中國人はかかる英國の暴虐を糾

彈せねばならぬ、ガンドーは印度の西歐帝國主義から

は印度の西歐帝國主義から

は印度

